

明治元訳旧約聖書『創世記』の 成立に関しての一考察

山 田 朱 音

1. はじめに

聖書の邦訳は、部分的ではあるが16世紀半ばから行われてきた。しかし、全文についての完訳は明治時代に外国人宣教師を中心として翻訳委員会による『舊約全書』『新約全書』（「委員会訳」また「明治元訳」）を最初とする。この1888年に完成した「明治元訳」は、非常に優れた翻訳文であるとされている。しかし、その名文が何によって成立したのかについてははっきり解明されていないのが現状である。これについての研究は、土岐ら（1988）が口語訳・新共同訳との比較から行なっているが、漢訳聖書の影響の大きさを確認したうえで、英訳聖書や注釈書の最新の成果を取り入れる努力が見られる、といった結論に留まっている¹⁾。そこで本稿では、『旧約聖書』の『創世記』を対象とし、具体的に英訳聖書のどの箇所が利用されているのかを明らかにする。

2. 邦訳旧約聖書の歴史

旧約聖書の翻訳史に関しては、鈴木（2006）が詳しく述べている²⁾。1876年に旧約聖書翻訳のための東京聖書翻訳委員会が設けられ、委員は、タムソン、パイパー、ワデル、コ克蘭らであった。その後、1878年に東京聖書翻訳常置委員が設置され、ヘボン、S・R・ブラウン、N・ブラウン、グリーン、マクレイ、ゴープル、ライト、クインビー、クレッカーらが加わることとなった。ヘボンは同年10月に委員長に選出されることとなる。翻訳作業は地方での分担作業で行われていたが、効率的に機能していなかった模様である。その後、パイパー訳やファイソン訳など旧約聖書所収の各書である何冊かが東京聖書翻訳常置委員会本

として刊行されたが、日本人信徒は、旧約聖書が個人訳のような形で刊行されることに危機感を抱き始めていた。この動きに伴い、1884年に奥野晶綱、小崎弘道、植村正久、井深梶之助、大儀見元一郎、木村熊二ら12名が日本側旧約聖書翻訳委員として選出された。しかし1885年、日本の教会の出金がふるわなかったことやテキストについての日本側委員の知識不足を理由に、外国側より日本側委員の廃止が提案され、1886年に解散となった。その後、旧約聖書の翻訳作業はふたたび外国人委員会の主導権のもとに推進された。高谷（1959）によると、1887年に旧約聖書の、歴代史略上下、エズラ書、ネヘミヤ記、エステル書、ヨブ記、詩編、イザヤ書、雅歌、エレミヤ哀歌が出版されており、さらに、創世記、ヨシュア記、箴言、ヨナ書、ハガイ書、マラキ書に関しては既に出版されていたものを改訂修正し、これらを併せて旧約聖書翻訳・出版事業が完了したとされている³⁾。

2-1. 『創世記』翻訳の歴史

『創世記』の邦訳が初めて出版されたのは1877年のことである。タムソン訳を基にまとめられた『舊約聖書 創世記 第一、二、三章』がこれにあたる。翌年には第十一章までを収めた『舊約聖書 創世記』が米国聖書会社から刊行された。これらの二書は、いずれも「明治元訳」の試訳とみなされる。『創世記』全五十章を含んだ完訳は、東京聖書翻訳委員会を拡大して新たに1878年に発足した東京聖書翻訳常置委員会に加わったファイソンがタムソンと協力し、1884年に『舊約聖書 創世記 完』と題して刊行された。試訳と比較すると漢字が増えていとされている⁴⁾。この『舊約聖書 創世記 完』がのちに他の書と合冊され、1888年に『舊約全書』として刊行される。これを『新約全書』と併せ「明治元訳」という。

3. 旧約聖書翻訳の底本

1884年、旧約聖書翻訳の軸であったヘボンが聖書翻訳について、日本人が漢文の聖書でおぎなっていたことは翻訳作業の遅れの原因であるが、はるかに優れた翻訳を完成するのに役立っていると述べており、さらに当時の日本人補佐者であった松山高吉らが英語の聖書を読み、十分に理解する能力があったことがす

ばらしい助けであったとも述べている⁵⁾。さらに、翻訳に役立てた資料として「中国訳はここに三種類もあって大いに役立っておりますが、あまりそれに頼りません。しかしわたしどもの翻訳はヘブル語から訳したのです。わたし自身はヘブル語に精通してはませんが、しかしその言語を味読するくらいは知っており、理解しています。難解な個所につづかった場合には、種々、多くの手引きがあります。たとえばギリシャ語の旧約聖書、ラテン語の聖書とか、フランス語の聖書その他、幾冊かの原文批評注解書を参照いたします。」と述べられている⁶⁾。

また、鈴木（2006）は旧約聖書翻訳において英国人は主に英文の聖書より翻訳したと言及しており⁷⁾、高橋（1984）は「明治 21 年に委員訳の旧新約聖書が出るまでは少なくとも旧約は訓点付の漢訳聖書が英訳聖書などと共に読まれていた筈であるから、日本における聖書の翻訳史にはこれら訓点付漢訳聖書のことにも言及さるべきであろう」と述べている⁸⁾。

さらに、長澤（2014）によると、ヘボンや S.R. ブラウンらプロテスタント宣教師を中心に 1872 年に結成された翻訳委員社中による翻訳は、上海美華書館から 1862 年に出版されていたブリッジマン・カルバートソン（Elijah Coleman Bridgeman, Michael Culbertson）による漢訳『旧約全書』に対し日本人補佐者に訓点を施させ、それを出版したところからはじまったという。さらに、その漢訳聖書を日本人補佐者に訓読させ、その日本語をヘボンらが改訂して邦訳聖書を作成するという方法で翻訳されていたとなっている⁹⁾。この訓点を施したとされる日本人補佐者は松山高吉であり、1888 年に開催された聖書翻訳完成祝賀会では、ヘボンが松山高吉と高橋五郎の文体への統一への貢献を高く評価していたことが分かっている¹⁰⁾。

このことを踏まえると、旧約聖書の翻訳は実に多種多様な資料に支えられて完了したことが分かる。しかし、翻訳にあたってやはり中心となったのは漢訳聖書と英訳聖書であることは間違いなさそうである。ヘボンはヘブル語から訳したと述べているがあまり精通していなかったと述べている¹¹⁾。これが謙讓表現でないとする、それによるところはそれほど多くなかったのではと思われる。

さらに、ヘボンは日本語ならではの表現の深さを大切にするために日本人補佐者の意見を重んじていたこと、その日本人補佐者が主に漢訳聖書を底本に使用していたことから、やはり翻訳作業の基盤となったのは漢訳聖書ではないかと推測

する。これについては、沼野（2014）が、海老沢（1981）を引用する形で、ヘボンが初めて邦訳を志したのは漢訳聖書からであることや、聖書の各書においてキリスト教的術語は漢訳聖書を継承したものが多くを根拠とし、漢訳聖書と邦訳聖書の密接な関係を明らかにしている¹²⁾。

3-1. 『創世記』における翻訳作業

本論では、旧約聖書の初めにあたる『創世記』を取り上げるが、1887年に完成した「明治元訳」における『創世記』は、1884年に『舊約聖書 創世記 完』と題して刊行された『創世記』全五十章を含んだ完訳を改訂修正したものである。すなわちこの完訳は高谷（1954）によると¹³⁾「ウォーデル、パイバア、タムソン、およびカクランの四人が委員にあげられ、既にタムソンが譯しておいた創世記第三章まで委員で訂正し、さらに十一章まで譯して出版した」とされている『舊約聖書 創世記 第一、二、三章』（1877）『舊約聖書 創世記』（1878）を基盤に改訂し翻訳したものである。

ここでは、ヘボンらが行ったのは改訂修正に留まることを押さえておきたい。ここで改訂修正された元の翻訳文において、タムソンらは何を底本にして翻訳作業を行ったのかは定かでない。しかし、書簡から¹⁴⁾少なくとも1882年にはヘボンは旧約聖書翻訳委員長であることが分かるため、十一章以降の翻訳にはヘボンが関わっていたと考えられる。また、ヘボンとタムソンは親交が深かったことから、ここでは『創世記』翻訳において漢訳聖書と英訳聖書が主に使用されていた可能性が高い。

そこで、本稿では「明治元訳」の語彙や表現が漢訳聖書と英訳聖書のどちらを参考にしているかを考察するとともに、底本とされているものの比重がどのようなものになっているのかを見ていくこととする。

4. 作業手順

4-1. 使用資料

本稿では、「明治元訳」と呼ばれる邦訳聖書『舊約全書』（1888 大英国聖書会社）を使用するのはもちろんのこと、漢訳聖書については『訓点 旧約全書』（1883 米国聖書会社）を使用する。これは先に述べた通り、当時の日本人翻訳者

たちが訓点付き聖書を使用していたからである。また、英訳聖書については欽定訳を用いるが、翻訳の行われた年代を考慮したうえで、『THE HOLY BIBLE, CONTAINING THE OLD AND NEW TESTAMENTS; TRANSLATED OUT OF THE ORIGINAL TONGUES, AND WITH THE FORMER TRANSLATIONS DILIGENTLY COMPARED AND REVISED.』(1857 NEW YORK: AMERICAN BIBLE SOCIETY, INSTITUTED IN THE YEAR MDCCCXVI.)を使用することとする。

4-2. 作業手順

ここでは、旧約聖書の最初の章にあたる『創世記』を調査する。作業手順は、長澤(2014)から翻訳作業が訓点付漢訳聖書を中心にしていたと仮定し、まず漢訳聖書(前記テキスト)を比較し、直訳されていないと思われる部分を抜き出すこととする。次に、その抜き出した部分が英訳聖書(前記テキスト)に存在するかどうかを確認していくこととする。

本稿では該当する箇所は全て抜き出すが、抜き出すものは明らかに直訳されていない部分のみとし、直訳か直訳でないか判断しきれない部分に関しては取り上げないこととする。

また、「明治元訳」では振り仮名が抜けている部分が数カ所存在するが、本稿ではそのまま記載する。さらに、「明治元訳」には人名や土地名に傍線が引かれているが、本稿では該当する表現に傍線を引くため、人名や土地名の傍線は省くこととする。

5. 比較結果

5-1. 漢訳聖書にはなく英訳聖書にはある表現

これは、「明治元訳」が英訳聖書を参考に行っている確固たる証拠となり得る部分である。

「第1章2節」

明治元訳 ち かたち むなし やみ わだ おもて かみ れいみず おもて おほひ
地は定形なく曠空くして黒闇淵の面にあり神の靈水の面を覆たりき

明治元訳旧約聖書『創世記』の成立に関しての一考察

漢訳 地乃虚曠、淵面晦冥、神之靈覆育於水面。

英訳 And the earth was without form, and void ; and darkness was upon the face of the deep. And the Spirit of God moved upon the face of the waters.

「第1章21節」

明治元訳 ^{かみおほい}神巨なる魚と水に饒に生じてうごく諸の生物を其類に從ひて創造り又羽翼ある諸の鳥を其類に從ひて創造りたまへり神之を善と観たまへり

漢訳 神乃造巨魚、興水所滋産有生諸動物、各從其類、以及飛鳥、亦從其類、神觀之爲善。

英訳 And God created great whales, and every living creature that moveth, which the waters brought forth abundantly, after their kind, and every winged fowl after kind : and God saw that it was good.

※明治元訳においての「うごく諸の生物」の表現については、一つ前の節である20節でのただの「生物」という表現に注目したい。ここに関しては、漢訳聖書は「有生諸動物」、英訳聖書は「living creatures」とすべて表現が一致しているが、上記のように21節での明治元訳「うごく諸の生物」では、漢訳聖書では「有生諸動物」と表現に変化がないのに対し、英訳聖書では「living creature that moveth」と表現されている。

「第3章1節」

明治元訳 エホバ神の造りたまひし野の生物の中に蛇最も狡猾し蛇婦に言ひけるは神真に汝等園の諸の樹の果は食ふべからずと言たまひしや

漢訳 那和華神所造諸生物莫狡於蛇、蛇謂婦曰、爾勿徧食園中諸樹之果、非神命乎。

英訳 Now the serpent was more subtle than any beast of the field which

the LORD God had made. And he said unto the woman, Yea, hath God said, Ye shall not eat of every tree of the garden?

※「第3章14節」も同様の表現あり。

「第3章6節」

明治元訳 婦樹を見ば食に善く目に美しく且知慧からんが爲に慕わしき樹なるによりて遂に其实實を取て食ひ亦之を己と俱なる夫に興へければ彼食へり

漢訳 於是婦視其樹、可食、可觀、又可慕、以其能益智慧也、遂摘果、食之並給其丈夫亦食之。

英訳 And when the woman saw that the tree was good for food, and that it was pleasant to the eyes, and a tree to be desired to make one wise, she took of the fruit thereof, and did eat, and gave also unto her husband with her; and he did eat.

※この明治元訳「俱」については、第2章24節（漢訳英訳は24-25節）において、漢訳聖書「並」が対応していることを確認した。第3章6節では、漢訳聖書「並」はあるが、これは明治元訳「亦」に対応していると考えの方が自然なため、ここで取り上げることとする。しかし、どちらに対応するかは再度考察しなおす必要があるだろう。「第3章7節」も同様の表現あり。

「第4章14節」

明治元訳 視よ汝今日斯地の面より我を逐出したまふ我汝の面を觀ることなきにいたらん我地に吟行ふ流離子とならん凡そ我に遇ふ者我を殺さん

漢訳 今日爾遂我出斯土不容觀爾面我即流蕩於地遇我者、必将殺我。

英訳 Behold, thou hast driven me out this day from the face of earth; and from thy face shall I be hid; and I shall be an fugitive and a vagabond in the earth; and it shall come to pass, that every one that findeth me shall slay me.

※「第6章12節」「第6章13節」「第6章17節」「第11章6節」「第12章11節」

明治元訳旧約聖書『創世記』の成立に関しての一考察

「第 16 章 2 節」「第 20 章 16 節」「第 24 章 15 節」「第 27 章 2 節」「第 37 章 19 節」「第 38 章 13 節」「第 39 章 8 節」「第 42 章 35 節」「第 44 章 8 節」「第 47 節 23 節」も同様の表現あり。

「第 7 章 10 節」

明治元訳 なぬか のち こうずいち のぞ
かくて七日の後洪水地に臨めり

漢訳 七日後、洪水氾濫於地。

英訳 And it came to pass after seven days, that the waters of the flood were upon the earth.

「第 8 章 11 節」

明治元訳 はとくれ かれ かへ み そのくち かんらん わかば ここ おい
鳩暮におよびて彼に還れり視よ其口に橄欖の新葉ありき是に於てノ
ち みづ ひ き
ア地より水の減少しをしれり

漢訳 及暮鳩歸就挪亞、口銜橄欖新葉、挪亞知水已退於地。

英訳 And the dove came in to him in the evening, and, lo, in her mouth was an olive leaf plucked off: so Noah knew that the waters were abated from off the earth.

※「第 18 章 2 節」「第 29 章 7 節」「第 42 章 28 節」「第 47 節 23 節」「第 48 章 11 節」も同様の表現あり。

「第 19 章 21 節」

明治元訳 てんのつかひこれ み われこのこと つき またなんぢ わがひ いれ
天使之にいひけるは視よ我此事に關ても亦爾の願を容たれば
なんぢ い まち ほろぼ
爾が言ふところの邑を滅さじ

漢訳 曰、此事我亦允爾、不滅爾所求之邑。

英訳 And he said unto him, See, I have accepted thee concerning this thing also, that I will not overthrow this city, for the which thou hast spoken.

「第 47 章 13 節」

明治元訳 ま て ききん ぜんこく くひもの くに
却説饑饉はなはだはげしくして全國に食物なくエジプトの國とカナ

ンの國^{くにきん}饑饉^{よわ}のために弱れり

漢訳 饑饉溢甚、四方無糧。埃及興迦南地、緣饑饉而窮乏。

英訳 And there was no bread in all the land ; for the famine was very sore, so that the land of Egypt and all the land of Canaan fainted by reason of the famine.

5-2. 漢訳聖書よりも英訳聖書のほうが近い表現

ここでは、漢訳聖書、英訳聖書共に類似の表現がなされているが、「明治元訳」が英訳聖書の表現を選択していると思われる部分である。

「第2章12節」

明治元訳 其^{その}地^ちの^{きん}金^よは善^{また}し又^{また}ブドラク^{へきぎよくかしこ}と碧玉^{へきぎよくかしこ} 彼處^こにあり

漢訳 其金最精亦産珍珠、一譯乳香碧玉。

英訳 And the gold of that land is good : there is bdellium and the onyx stone.

「第2章19節」

明治元訳 エホバ^{かみつち}神^{もつ}土^のを以て野^のの 諸^{すべて}の 獣^{けもの}と天空^{そら}の 諸^{すべて}の 鳥^{とり}をつくりたまひてアダムの^{これ}之^{なに}を何と名^{なづ}くかを見んとて之^{これ}を彼^{かれ}の所^{ところ}に率^{ひき}いいたりたまへりアダムが生物^{いきもの}に名^{なづ}付けたる所^{ところ}は皆^{みな}其名^{そのな}となりぬ

漢訳 那和華神以土造田之諸獸、天空の諸鳥率、至亞當前、視其稱以何名、依亞當所名諸生物、而其名乃定。

英訳 And out of the ground the LORD God formed every beast of the field, and every fowl of the air ; and brought them unto Adam to see what he would call them ; and whatsoever Adam called every living creature, that was the name thereof.

※「第2章20節」「第23章9節」「第23章11節」「第22章13節」「第23章17節」「第23節19節」「第23章20節」「第24章63節」「第24節65節」「第25章9節」「第25章10節」「第25章27節」「第25章29節」「第27章3節」「第27章5節」「第27章27節」「第29章2節」「第30章14節」「第30章16

明治元訳旧約聖書『創世記』の成立に関しての一考察

節」「第31章4節」「第33節19節」「第34節5節」「第34章7節」「第34章28節」「第37章15節」も同様の表現あり。

「第2章21節」

明治元訳 ここ おい かみ みか ねむ ねむ としそのあばらばね ひとつ と
是に於てエホバ神アダムを熟く睡らしめ睡りし時其肋骨の一を取
にく そのところ ふさぎ
り肉をもて其處を填塞たまへり

漢訳 那和華神令亞當酣寝、寝酣時、神取其脇之一、而寔以肉。

英訳 And the LORD God caused a deep sleep to fall upon Adam, and he slept; and he took one of his ribs, and closed up the flesh instead thereof.

※「第2章22節」も同様の表現あり。

「第2章24節」（漢訳聖書、英訳聖書は24-25節）

明治元訳 このゆえ ひと ちはは はな そのつま あ ふたり いったい
是故の人は父母を離れて其妻に好合ひ二人一体となるべしアダムと
そのつま ふたりとも はだか はぢ
其妻は二人俱に裸体にして愧ざりき

漢訳 是以人宜離父母、好合其妻、二者即爲一體。夫婦二人並裸、亦無愧焉。

英訳 Therefore shall a man leave his father and his mother, and shall cleave unto his wife: and they shall be one flesh. And they were both naked, the man and his wife, and were not ashamed.

「第4章1節」

明治元訳 そのつま し かれはら う いひ われ
アダム其妻エバを知る彼孕みカインを生みて言けるは我エホバによりて一箇の人を得たりと

漢訳 亞當與妻夏姓同室、夏姓懷孕生該陰、譯即得也云、那和華佑我、乃生男子。

英訳 AND Adam knew Eve his wife; and she conceived, and bare Cain, and said, I have gotten a man from the LOAD.

※「第4章17節」「第4章25節」も同様の表現あり。

「第4章25節」

明治元訳 アダム復^{また}其^{その}妻^{つま}を知^{しり}て彼^{かれ}男^{をとこの}子^こを生^うみ其^{その}名^なをセツと名^{なづ}けたり其^そは彼^{かれ}神^{かみ}
我^{われ}にカインの殺^{ころ}したるアベルのかはりに他^{ほか}の^{たね}子^{あた}を興^{たね}へたまへりと
いひたればなり

漢訳 亞當復興妻同室、生子、名之曰、設、言神再賜我^う子^こ、以代該陰所殺之亞伯。

英訳 And Adam knew his wife again ; and she bare a son, and called his name Seth : For God, said she, hath appointed me another seed instead of Abel, whom Cain slew.

※ここでの「子」の表現について、明治元訳では「子」に振り仮名「たね」が振られており、英訳「seed」からの翻訳と考えるのが自然である。「第21章12節」第38章8節」「第38章9節」「第48章11節」も同様の表現あり。

「第5章24節」

明治元訳 エノク神^{かみ}と偕^{とも}に歩^{あゆ}みしが神^{かみ}かれを^と取りたまひければを^とらずなりき

漢訳 以諾與神偕行、神接^{あひ}之^を往、故不在世。

英訳 And Enoch walked with God : And he was not ; for God took him.

「第14章10節」

明治元訳 シデムの谷^{たに}には地^ち溼^や青^んの坑^{あな}多^{おほ}りしがソドムとゴモラの王^{わう}達^{たち}遁^げて其^そ
處^こに陥^{おち}りぬ其^{その}餘^{ほか}の者^{もの}は山^{やま}に遁^{のが}逃^れたり

漢訳 西亭谷多石油坑。所多馬王及蛾摩拉王奔、師敗於彼、餘遁於山。

英訳 And the vale of Siddim was full of slimepits ; and the kings of Sodom and Gomorrah fled, and fell there ; and they that remained fled to the mountain.

「第14章14節」

明治元訳 アブラム其^{その}兄^{きょう}弟^{だい}の擲^{とり}にせられしを聞^ききしかば其^{その}熟^{じゆ}練^{くれん}したる家^{いえ}の
子^こ三百十八人を率^{ひき}いてダンまで追^{おひ}いたり

漢訳 亞伯蘭聞姪被奪、遂率習練之僕隸、素育於家者、三百十八人、追至

明治元訳旧約聖書『創世記』の成立に関しての一考察

於但。

英訳 And when Abram heard that his brother was taken captive, he armed his trained servants, born in his own house, three hundred and eighteen, and pursued them unto Dan.

※「第 14 章 16 節」に同様の表現あり。

「第 14 章 18 節」

明治元訳 とき時にサレムのわう王メルキゼデグさけパンと酒をもちいだ攜出せりかれ彼はいとたか至高かみき神の祭さい司しなりき

漢訳 時撒冷王麥基洗德、爲至上之神之祭司載餅興酒而出、

英訳 And Melchizedek king of Salem brought forth bread and wine : and he was the priest of the most high God.

※ここでは、英訳聖書を参照した可能性もあるが、キリシタン文献ですでに「パン」と表記されていることから、「パン」という語彙自体がすでに周知のものであったとも考え得る部分である。「第 21 章 14 節」「第 25 章 34 節」「第 27 章 17 節」「第 28 章 20 節」「第 31 章 54 節」「第 37 章 25 節」「第 39 章 6 節」も同様の表現あり。

「第 15 章 15 節」

明治元訳 なんぢ爾はやすらか安然になんぢ爾のせんぞ父祖のところ所にゆかんゆかんなんぢ爾はよきよはひ遐齡いたに達りてほうむ葬らるべし

漢訳 爾必安然歸祖享遐齡而正邱首。

英訳 And thou shalt go to thy fathers in peace ; thou shalt be buried in a good old age.

※ここで注目したいのは振り仮名である。漢字は漢訳聖書のものをそのまま用いられているが、これに「よきよはひ」が振られており、これは英訳からと考える。

「第 16 章 11 節」

明治元訳 エホバの使者又彼に言いけるはつかひ汝またかれ孕めりい男子なんぢはらをなとこのこ生まんう其名そのなをイシ

明治元訳旧約聖書『創世記』の成立に関しての一考察

マエルかみきこしめす（神聴知）と名くべしエホバなづ汝なんぢの艱難くるしみを聴知きこしめしたまへばなり

漢訳 那和華之使又曰、爾今懷孕、將生子因那和華俯念爾苦、可命名以實馬利。

英訳 And the angel of the LOAD said unto her, Behold, thou art with child, and shalt bear a son, and shalt call his name Ishmael; because the LOAD hath heard thy affliction.

※漢訳「子」に対して、明治元訳「男子」と性別が明示されているのは、英訳聖書「son」を参照にしたからと推測できる。「第18章10節」「第18章14節」「第21章2章」「第21章7節」「第24章36節」「第30章23節」「第35章17節」「第38章3節」「第38章4節」「第38章5節」にも同様の表現あり。

「第17章2節」

明治元訳 われわれが契約けいやくを我われと汝なんぢの間あひだに立たて大おほいに汝なんぢの子孫しそんを増まさん

漢訳 我將興爾立我約、蕃衍於爾、

英訳 And I will make my covenant between me and thee, and will multiply thee exceedingly.

※ここでは、「汝と我」の語順に注目したい。この「汝と我」は英訳聖書の語順を参照にされたとも考えられるが、崇める対象としての神を先に持ってきている訳者の工夫の可能性も否定はできない。「第17章7節」「第17章10節」「第17章11節」も同様の表現がみられる。

「第18章1節」

明治元訳 エホバマムレの橡林かしばやしにてアブラハムに顕現あらはれたまへり彼は日かれの熱ひき時刻ころ天幕てんまくの入口いりぐちに坐ぞしいたりしが

漢訳 那和華在慢哩之橡樹、顕現於亞伯拉罕。日午熱時、亞伯拉罕適坐幕門、

英訳 AND the LOAD appeared unto him in the Plains of Mamre : and he sat in the tent door in the heat of the day ;

※明治元訳「林」は、漢訳「樹」という単数表現ではなく、英訳聖書「Plains」

明治元訳旧約聖書『創世記』の成立に関しての一考察

という複数表現を参照していると考えるのが自然である。しかし、「第 13 章 18 節」にも「橡林」という表現が出てくるが、ここでは漢訳聖書「樹」、英訳聖書「plain」と共に単数表現である。

「第 18 章 11 節」

明治元訳 ^{そもそも}抑 ^あブラハムと^とサラは^{としす}年邁^おみて^{もの}老いたる者にしてサラには^{をんな}婦人の^{つね}常^{ことす}の^{やみ}經己に息たり

漢訳 夫亞伯拉罕與撒拉、年俱老邁撒拉月穢已絶

英訳 Now Abraham and Sarah were old and well stricken in age ; and it ceased to be with Sarah after the manner of women.

「第 18 章 18 節」

明治元訳 アブラハムは^{かなら}必ず^{おほい}大なる^{つよ}強き^{くにたみ}國民となりて^{てん}天下の^か民^{たみ}皆^{みな}彼^なに^{かれ}由^{より}て^{さいは}福^ひを^{うる}獲^{いた}に至^あるべきに^あ在^あらずや

漢訳 蓋亞伯拉罕固將爲大而有力之國、天下萬國由之獲福。

英訳 Seeing that Abraham shall surely become a great and mighty nation, and all the nations of the earth shall be blessed in him?

※「第 22 節 18 節」「第 26 章 4 節」「第 35 章 11 節」「第 46 章 3 節」「第 48 章 19 節」も同様の表現あり。

「第 19 章 11 節」

明治元訳 ^{いへ}家の^{いりくち}入口に^{ひとびと}を^{おほい}入^{ちひさき}人衆^{とも}をして^め大^{くらま}なるも^{ちひさき}小^{とも}も^め俱に^{くらま}目を^{くらま}眩^{くらま}しめければ^{かれら}彼^{つひ}等^{いりくち}遂^{たづ}に^つ入口^つを^つ索^つぬるに^つ困^つ憊^つたり

漢訳 且令門外之人、老幼皆盲徒自劳苦、索門不得。

英訳 And they smote the men that were at the door of the house with blindness, both small and great : so that they wearied themselves to find the door.

※「第 19 章 4 節」では、漢訳聖書「老幼」に、英訳聖書「old and young」、明治元訳「老いたると若きとを」が対応している。

「第 20 章 6 節」

明治元訳 ^{かみまたゆめ} 神又夢に^{これ いひ}之に言たまひけるは^{しか}然り^{われなんぢ}我汝が^{まつた}全き^{こころ}心をもて^{これ}之をなせる^しを知りたれば^{われ なんぢ}我も汝を^{はば}阻めて^{つみ}罪を^{われ}我に^{をか}犯さしめ^{かれ}ざり^{ふる}き^ふ彼に^{ゆるさ}觸る^{これ}を容ざりしは是がためなり

漢訳 神於夢中謂之曰、然、我知爾爲此爾心實正我阻爾、免獲罪於我、故不容爾近婦。

英訳 And God said unto him in a dream, Yea, I know that thou didst this in the integrity of thy heart; for I also withheld thee from sinning against me: therefore suffered I thee not to touch her.

「第 20 章 16 節」

明治元訳 ^{また}又サラに^{いひ}言けるは^み視よ^{われなんぢ}我爾の^{あに}兄に^{ぎんせんまい}銀千枚^{あた}を興へたり^{これ}是は^{なんぢ}爾および^{すべて}諸の^{ひと}人にあり^{ことども}し事等につきて^{なんぢ}爾の^め目を^{おほ}蔽ふ者なり^{もの}斯爾償贖^{かくなんぢつくのひ}を得たり

漢訳 又謂撒拉曰、我以千金賜爾兄、爲蔽目於衆前、及凡偕爾者、言此蓋以責之。

英訳 And unto Sarah he said, Behold, I have given thy brother a thousand pieces of silver: behold, he is to thee a covering of the eyes, unto all that are with thee, and with all other: thus she was reproved.

※ここでの表現は、英訳聖書を参照した可能性や当時の経済である銀本位制に合わせた表現にした可能性がある。「第 23 章 15 節」「第 23 章 16 節」「第 37 章 28 節」「第 45 章 22 節」も同様の表現あり。

「第 21 章 7 節」

明治元訳 ^{またいひ}又曰けるは^{たれ}誰が^{こども}アブラハムに^{ちち}サラ子女に^{のま}乳を^{いひ}飲むるに^いいたらんと言しものあらん^{しかる}然^{かれ}に^{としおゆ}彼が年^{およ}老るに^を及びて^{うみ}男子を^を生たりと

漢訳 又曰、誰能語亞伯拉罕云、撒拉必乳哺子乎、蓋亞伯拉罕年已老、而吾從之生子矣。

英訳 And she said, Who would have said unto Abraham, that Sarah should have given children suck? for I have borne him a son in his

old age.

※明治元訳では「子女」に振り仮名「こども」が振られており、英訳聖書「children」からの翻訳と考えるのが自然である。

「第 21 節 12 章」

明治元訳 神^{かみ}アブラハムに言^{いひ}たまひけるは童兒^{わらべ}のため又^{また}汝^{なんぢ}の婢^{しもめ}のために^{これ}之^を憂^{うれふ}るなかれサラが^{なんぢ}汝^{いふ}に言^{ことば}ところの言^{ことごとこれ}は悉^きく之^をを聽^きけ其^そはイサクより出^{いづ}る者^{もの}汝^{なんぢ}の裔^{すえ}と稱^{となへ}らるべければなり

漢訳 神謂亞伯拉罕曰、爾子興婢之事、爾母以爲重憂、撒拉所言、爾悉聽之蓋爾後裔必由以撒而稱。

英訳 And God said unto Abraham, Let it not be grievous in thy sight because of the lad, and because of thy bondwoman ; in all that Sarah hath said unto thee, hearken unto her voice ; for in Isaac shall thy seed be called.

※「第 21 章 17 節」「第 21 章 18 節」「第 21 章 19 節」「第 21 章 20 節」「第 22 節 5 節」「第 22 節 12 節」も同様の表現あり。

「第 24 章 35 節」

明治元訳 エホバ^{おほい}大^{しゆじん}にわが主人^{おほい}をめぐみたまひて大^{もの}なる者^{また}とならしめ又^{また}羊^{またひつじ}
牛^{うし}金^{きん}銀^{ぎん} 僕^{しもべ} 婢^{しもめ} 駱^{らく}駝^た 驢^ろ 馬^ばをこれにたまへり

漢訳 那和華大祝我主、使之昌大、又賜羊牛成羣、銀金僕婢駱驢。

英訳 And the LORD hath blessed my master greatly, and he is become great : and he hath given him flocks, and herd, and silver, and gold, and menservants, maidservants, and camels, and asses.

二
八

「第 24 章 49 節」

明治元訳 されば汝^{なんぢ}等若^らわが主人^{しゆじん}にむかひて慈^{めぐみ}恵^みと眞^ま誠^{こと}をもて事^{こと}をなさんと
おも^{おも}はば我^{われ}に告^{つげ}よ 然^{しから}ざるも亦^{また}我^{われ}に告^{つげ}よ 然^{しから}ば我^{われ}右^{みぎ}か左^{ひだり}
えん

漢訳 今爾若以慈惠眞實待我主、則告我、不然亦告我、使我可左之右之。

英訳 And now, if ye will deal kindly and truly with my master, tell me :
and if not, tell me ; that I may turn to the right hand, or to the left.

〔第 24 章 53 節〕

明治元訳 ^{ここ}是に於て ^{おい}僕 ^{しもべぎん}銀の ^{かざりきん}飾品金の ^{かざり}飾品および ^{ころも}衣服をとりいだしてりベカに
^{あた}興へ ^{またそのあに}亦其兄と ^{はは}母に ^{たからもの}實物をあたへたり

漢訳 僕出金銀器皿興衣服饋利百加。又以實物饋其兄弟及母。

英訳 And the servant brought forth jewels of silver, and jewels of gold,
and raiment, and gave them to Rebekah : he gave also to her brother
and to her mother precious things.

〔第 24 章 60 節〕

明治元訳 ^{すなわ}即ち ^{かれら}彼等りベカを ^{しゆく}祝して ^{これ}之にいひけるは ^{いもうと}わられの ^{なんぢ}妹よ ^{ちよろづ}汝千萬
^{ひと}の ^{はは}人の母となれ ^{なんぢ}汝の ^{しごん}子孫をして ^{そのあた}其仇の ^{もん}門を ^{とら}獲しめよ

漢訳 祝利百加曰、爾乃我姊妹、願爾爲億兆之母。爾裔獲敵之門。

英訳 And they blessed Rebekah, and said unto her, Thou art our sister ;
be thou the mother of thousands of millions, and let thy seed possess
the gate of those which hate them.

〔第 25 章 18 節〕

明治元訳 イシマエルの ^{こら}子等は ^{まへ}ハビラより ^{あひだ}エジプトの前なるシユルまでの間
に ^{すみ}居住て ^{その}アッスリアまでにおよべり ^{きょうだい}イシマエルは其すべての兄弟
^{たち}等の まへにすめり

漢訳 以實馬利子孫所居之地、自哈腓拉至書耳、書耳隣於埃及、即往亞述
之路、斯土在其兄弟東。

英訳 And they dwelt from Havilah unto Shur, that is before Egypt, as
thou goest toward Assyria : and he died in the presence of all his
brethren.

「第 25 章 20 節」

明治元訳 イサク四十歳にしてリベカを妻に娶れりリベカはパダンアラムのス
リア人ベトエルの女にしてスリア人ラバンの妹なり

漢訳 以撒四十歳娶利百加、彼乃巴担亞蘭之亞蘭人彼土利女、亞蘭人拉班
姉妹。

英訳 And Isaac was forty years old when he took Rebekah to wife, the
daughter of Bethuel the Syrian of Padan-aram, the sister to Laban
the Syrian.

※「第 28 章 5 節」「第 31 章 20 節」「第 31 章 24 節」も同様の表現あり。

「第 26 章 12 節」

明治元訳 イサク彼地に種播て其年に百倍を獲たりエホバ彼を祝みたまふ

漢訳 以撒在彼地耕稼、其年一樹百獲、而那和華祝之。

英訳 Then Isaac sowed in that land, and received in the same year a
hundredfold : and the LORD blessed him.

「第 28 章 14 節」

明治元訳 汝の子孫は地の塵沙のごとなりて西東北南に蔓るべし又天下
の諸の族汝と汝の子孫によりて福祉をえん

漢訳 爾裔將如地之塵、爾必廣延至東西南北。天下諸族、將由爾及爾裔獲
福。

英訳 And thy seed shall be as the dust of the earth ; and thou shalt spread
abroad to the west, and to the east, and to the north, and to the
south : and in thee and in thy seed shall all the families of the earth be
blessed.

「第 29 章 13 節」

明治元訳 ラバン其妹の子ヤコブの事を聞しかば趨ゆきて之を迎へ之を抱き
て接吻し之を家に導きいたれりヤコブすなわち此等の事を悉くラ
バンに述べたり

漢訳 拉班聞甥雅各至、即趨迎之、抱而接吻、引之入室。雅各以此諸事告拉班。

英訳 And it came to pass, when Laban heard the tidings of Jacob his sister's son, that he ran to meet him, and embraced him, and kissed him, and brought him to his house. And he told Laban all these things.

〔第30章14節〕

明治元訳 茲に麥荊の日にルベン出ゆきて野にて戀茄を獲これを母レアの許にもちきたりければラケルレアにいひけるは請ふ我に汝の子の戀茄をあたへよ

漢訳 適麥秋流便往田得茄、持以興母利亞、拉結語利亞曰、請以爾子之茄予我。

英訳 And Reuben went in the days of wheat harvest, and found mandrakes in he field, and brought them unto his mother Leah. Then Rachel said to Leah, Give me, I pray thee, of thy son's mandrakes.

〔第30章43節〕

明治元訳 是に於て其人大に富饒になりて多の家畜と婢僕および駱駝驢馬を有にいたれり

漢訳 雅各於是蕃庶、廣有羣畜僕婢駱駝驢焉。

英訳 And the man increased exceedingly, and had much cattle, and maidservants, and menservants, and camels, and asses.

〔第33章6節〕

明治元訳 時に仕女等その子とともに近よりて排し

漢訳 二婢興其子前而俯伏。

英訳 Then the handmaidens came near, they and their children, and they bowed themselves.

「第 34 章 19 節」

明治元訳 このわか ひと むすめ あい そのこと おそく かれ
此若き人ヤコブの女を愛するによりて其事をなすを遅せざりき彼
ちち いへ うち もつもとたふとば もの
はその父の家の中にて最貴れたる者なり

漢訳 少者於父族爲至貴、因愛雅各女、故不遲行其事。

英訳 And the young man deferred not to do the thing, because he had delight in Jacob's daughter : and he was more honourable than all the house of his father.

「第 35 章 1 節」

明治元訳 こ かみ いひ たち かし こ を
茲に神ヤコブに言たまひけるは起てベテルにのぼりて彼處に居り
なんぢ さき あに かほ に ぐ とき なんぢ かみ かし
汝が昔に兄エサウの面をさけて逃る時に汝にあらはれし神に彼
こ だん
處にて壇をきづけと

漢訳 神諭雅各曰、爾起、往居伯特利、在彼爲神築壇、即爾避兄以掃時、顯現於爾之神也。

英訳 AND God said unto Jacob, Arise, go up to Beth-el, And dwell there : and make there an altar unto God, that appeared unto thee when thou fleddest from the face of Esau thy brother.

※「第 35 章 7 節」「第 50 章 1 節」も同様の表現あり。

「第 39 章 11 節」

明治元訳 そのころ つとめ いへ いへ ひとひとり うち
當時ヨセフその職をなさんとて家にいりしが家の人一箇もその内
にをらざりき

漢訳 維時、約瑟入室治事、適家人俱無在室者。

英訳 And it came to pass about this time, that Joseph went into the house to do his business ; and there was none of the men of the house there within.

「第 41 章 8 節」

明治元訳 あさ こころやす ひと はふじゆつ
パロ朝におよびてその心安からず人をつかはしてエジプトの法術
し はかせ みな め これ ゆめ のべ され これ
士とその博士を皆ことごとく召し之にその夢を述たり然ど之をパロ

に解^{とき}うる者^{もの}なかりき

漢訳 詰朝、法老心憂、悉召埃及哲人^{博士}、以夢告之、無人能解於法老。

英訳 And it came to pass in the morning that his sprit was troubled ; and he sent and called for all the magicians of Egypt, and all the wise men thereof : and Pharaoh told them his dream ; but there was none that could interpret them unto Pharaoh.

※「第 41 章 24 節」にも「法術士」が出てくるが、対応する語は漢訳聖書「博士」、英訳聖書「the magicians」であることから、明治元訳では漢訳聖書「哲人」を「博士」と訳した可能性がある。

「第 41 章 42 節」

明治元訳 パロすなわち指^{ゆびわ}環^ををその手より脱^てして之^{はづ}をヨセフの手にはめ^{これ}之^{しる}に白
 布^{ぬの}を衣^きせ金^{きん}の索^{くさり}をその項^{くび}にかけ

漢訳 法老脱己手之環、施於約瑟手、衣之以絺、復以金索垂其項。

英訳 And Pharaoh took of his ring from his hand, and put it upon Joseph's hand, and arrayed him in vestures of fine linen, and put a gold chain about his neck ;

5-3. 英訳聖書の注にある表現

ここでは、漢訳聖書、英訳聖書共に本文にはない表現であるが、英訳聖書の注に表記がある部分を取り上げる。

「第 16 章 11 節」

明治元訳 エホバの使者^{つかひ}又^{また}彼^{かれ}に言^いひけるは汝^{なんぢ}孕^{はら}めり男子^{をとこのこ}を生^うまん其^{その}名^なをイシ
 マエル (神聽知) と名^{なづ}くべしエホバ汝^{なんぢ}の艱^{くるしみ}難^{なづ}を聽^き知^{こしめ}したまへばな
 り

漢訳 那和華之使又曰、爾今懷孕、將生子因那和華俯念爾苦、可命名以實馬利。

英訳 And the angel of the LOAD said unto her, Behold, thou art with child, and shalt bear a son, and shalt call his name Ishmael ; because

明治元訳旧約聖書『創世記』の成立に関しての一考察

the LOAD hath heard thy affliction.

英訳の注 That is, God shall hear.

〔第 16 章 14 節〕

明治元訳 ^{ここ}是をもて其井はベエルラハイロイ ^{われ} ^み ^い ^{もの} ^い ^よ (我を見る活くる者の井) と呼ば
^{これ} ^{あひだ} ^間 ^に ^{あり}
る是はカデシとベレデの間にあり

漢訳 故名其井曰、別拉海萊、即在迦鐵及庇列之間。

英訳 Wherefore the well was called Beer-lahai-roi : behold, it is between
Kadesh and Bered.

英訳の注 That is, The well of him that liveth and seeth me.

〔第 19 章 22 節〕

明治元訳 ^{いそ} ^{かし} ^こ ^の ^が ^{なんぢ} ^{かし} ^こ ^{いた} ^{われ} ^{なに} ^{こと} ^{なす} ^え ^ず ^と
急びて彼處に遁れよ爾が彼處に至るまでは我何事をも爲を得ずと
^{これ} ^{より} ^{その} ^{まち} ^な ^は ^ズ ^{アル} ^ち ^い ^さ ^と ^よ ^ば ^る
是に因りて其邑の名はゾアル(小し)と稱る

漢訳 爾宜速逃遁於彼、蓋爾未至、吾不得行事也、故其邑名瑣耳。

英訳 Haste thee, escape thither ; for I cannot do any thing till thou be
come thither. Therefore the name of the city was called Zoar.

英訳の注 That is, Little, ver. 20.

〔第 21 章 31 節〕

明治元訳 ^{その} ^{ところ} ^ち ^か ^ひ ^い ^ど ^な ^づ
其處をベエルシバ(盟約の井)と名けたり

漢訳 故名彼處曰、別是巴、以二人誓於彼、故也。

英訳 Wherefore he called that place Beer-sheba ; because there they
sware both of them.

英訳の注 That is, The well of the oath.

※「第 26 章 33 節」も同様の表現あり。

〔第 25 章 30 節〕

明治元訳 ^{われ} ^{つか} ^こ ^{その} ^あ ^か ^き ^{もの} ^そ ^こ ^あ ^か ^き ^{もの}
エサウヤコブにむかひ我働れたれば請ふ其紅糞其處にある紅糞を
^{われ} ^こ ^を ^も ^て ^彼 ^の ^名 ^は ^エ ^ド ^ム ^あ ^か ^と ^な ^へ
我にのませよといふ是をもて彼の名はエドム(紅)と稱らる

漢訳 以掃請雅各曰、我憊矣、請以此紅羹食我、故其名曰、以東。
英訳 And Esau said to Jacob, Feed me, I pray thee, with that same red pottage; for I am faint: therefore was his name called Edom.
英語の注 That is, Red.

〔第 26 章 20 節〕

明治元訳 ゲラルの牧者此水は我等の所属なりといひてイサクの僕と争ひければイサク其井の名をエセク (競争) と名けたり彼等が己と之を競争たるによりてなり

漢訳 其臘牧者争於以撒牧者曰、此水属我、因其興已争、故以撒稱此井曰埃色。

英訳 And the herdmen of Gerar did strive with Isaac's herdmen, saying, The water is ours: and he called the name of the well Esek; because they strove with him.

英訳の注 That is, Contention.

〔第 26 章 21 節〕

明治元訳 是に於て又他の井を鑿しが彼等是をも争ひければ其名をシテナ (敵) と名づけたり

漢訳 復鑿他井、又争之、故稱其名曰息拿。

英訳 And they digged another well, and strove for that also: and he called the name of it Sitnah.

英訳の注 That is, Hatred.

〔第 26 章 22 節〕

明治元訳 イサク乃ち彼處より遷りて他の井を鑿けるが彼等之をあらそはざりければ其名をレホポテ (廣場) と名けて言けるは今エホバ我等の處所を廣くしたまへり我等斯地に繁衍ん

漢訳 以撒離彼更鑿一井、乃不復争、則稱其名曰哩河伯、蓋言那和華今使我寬舒、我將蕃衍於斯土。

明治元訳旧約聖書『創世記』の成立に関しての一考察

英訳 And he removed from thence, and digged another well ; and for that they strove not : and he called the name of it Rehoboth and he said, For now the LOAD hath made room for us, and we shall be fruitful in the land.

英訳の注 That is, Room.

「第 27 章 36 節」

明治元訳 エサウいひけるは彼をヤコブ（推除者）となづくるは宜ならずや
かれ われ おしのくるもの
彼が我をおしめる事此にて二次なり昔にはわが家督の權を奪ひ今
かれ ことこれ ふたたび きき か とく けん うぼ いま
はわが祝を奪ひたり又言ふ汝は祝をわがために残しおかざりし
めぐみ うぼ また い なんぢ めぐみ のこ
や

漢訳 以撒曰、名之爲雅各不亦宜乎、彼欺我者再、昔奪我冢子業、今又奪我祝那、又曰、豈更無所祝我乎。

英訳 And he said, Is not he rightly named Jacob? For hath supplanted me these two times : he took away my birthright ; and, behold, now he hath taken away my blessing. And he said, Hast thou not reserved a blessing for me?

英訳の注 That is, A supplanter.

「第 28 章 19 節」

明治元訳 其處の名をベテル（神殿）と名けたり其邑の名は初はルズとい
そのところ な かみのいへ なづ そのまち な はじめ
へり

漢訳 名其曰伯特利、此邑初名路斯。

英訳 And he called the name of that place Bethel : but the name of that city was called Luz at the first.

英訳の注 That is, The house of God.

「第 31 章 47 節」

明治元訳 ラバン之をエガルサハドタ（証憑の埵）と名けヤコブ之をギレアデ
これ あかし つか なづ これ
（証憑の埵）と名けたり
あかし つか なづ

漢訳 拉班名其埵曰亦甲撒哈士大雅各名之曰迦列
英訳 And Laban called it Jegarsahadutha : but Jacob called it Galeed.
英訳の注 That is, The heap of witness. Chald.
That is, The heap of witness. Heb.

〔第 31 章 49 節〕

明治元訳 またミヅバ（觀望樓）と稱^{となへ}らる^そ其^{かれわれ}は彼我等^{たがひ}が互^{たがひ}にわかるる^{およ}るに及^{およ}べる
時^{とき}ねがは^{われ}くはエホバ我^{われ}と汝^{なんぢ}の間^{あひだ}を鑑^{かん}みたまへといひたればなり
漢訳 又名密士巴、蓋曰、我儕睽違時、那和華監於爾我間。
英訳 And Mizpah ; for he said, The LORD watch between me and thee,
when we are absent one from another.
英訳の注 That is, A beacon, or, watchtower.

〔第 32 章 2 節〕

明治元訳 ヤコブこれを見て是^みは神^この陣營^{かみ}なりといひてその處^{じんえい}の名^なをマハナ
イム（二營）となづけたり
漢訳 雅各一見、則曰、是神之軍也。故名其地曰馬哈念。
英訳 And when Jacob saw them, he said, This is God's host : and he called
the name of that place Mahanaim.
英訳の注 That is, Two hosts, or, camps.

〔第 32 章 30 節〕

明治元訳 是^{ここ}を以^もてヤコブその處^{ところ}の名^なをベニエル（神の面）となづけて曰^いふ
我^{われ}面^{かほ}と面^{かほ}をあはせて神^{かみ}とあひ見^みてわが^い生命^{いのち}なほ存^{いく}るなりと
漢訳 雅各名其地曰便以利。言我贖神之面、而生命尚存。
英訳 And Jacob called the name of the place Peniel : for I have seen God
face to face, and my life is preserved.
英訳の注 That is, The face of God.

〔第 33 章 17 節〕

明治元訳 ^{かく}斯^{すす}てヤコブスコテに進^{おのれ}みて己^{いへ}のために家^たを建^{また}て又^{かちく}家畜^{こや}のために廬^{こや}をつ^{つく}く^{これ}を^{そのところ}作り^なて是^{こや}によりて其^{こや}處^{こや}の名^{こや}をスコテ (廬) といふ

漢訳 雅各往至數割。爲己築室、爲畜結茅。故其地名曰數割。

英訳 And Jacob journeyed to Succoth, and built him a house, and made booths for his cattle: therefore the name of the place is called Succoth.

英訳の注 That is, Booths.

〔第 33 章 20 節〕

明治元訳 ^{かし}彼^こ處^{だん}に壇^{これ}を^{かみ}き^{かみ}づ^{かみ}きて^{かみ}之^{かみ}を^{かみ}エル、エロへ、イスラエル (イスラエルの^{かみ}神^{かみ}なる^{かみ}神) となづけたり

漢訳 在彼築壇、名之曰以利羅熙以色列

英訳 And he erected there an altar, and called it El-Elohe-Israel.

英訳の注 That is, God the God of Israel.

〔第 35 章 8 節〕

明治元訳 ^{とき}時に^うリベカ^{しに}の乳^{これ}媼^{しに}デボラ^{しに}死^{これ}たれば^{しに}之^{しに}を^{しに}ベテル^{しに}の下^{しに}にて^{しに}橡^{しに}樹^{しに}の下^{しに}にて^{しに}葬^{しに}れり^{しに}是^{しに}によりて^{しに}その^{しに}樹^{しに}の名^{しに}を^{しに}アロン^{しに}バクテ^{しに} (哀^{しに}哭^{しに}の^{しに}橡) といふ

漢訳 利百加乳媼底破喇死、葬於伯特利下、上有橡樹一本、故稱其名曰、亜倫巴哭。

英訳 But Deborah Rebekah's nurse died, and she was buried beneath Beth-el under an oak: and the name of it was called Allon-bachuth.

英語の注 That is, The oak of weeping.

〔第 35 章 18 節〕

明治元訳 ^{かれし}彼^{かれし}死^{かれし}にのぞ^{たましひ}みて^{たましひ}その^{たましひ}魂^{たましひ}さらんと^{たましひ}する^{たましひ}時^{たましひ}その^{たましひ}子^{たましひ}の名^{たましひ}を^{たましひ}ベノ二^{たましひ} (吾^{たましひ}苦^{たましひ}痛^{たましひ}の^{たましひ}子) と呼^{たましひ}たり然^{たましひ}と^{たましひ}其^{たましひ}父^{たましひ}これ^{たましひ}を^{たましひ}ベニヤ^{たましひ}ミン^{たましひ} (右^{たましひ}手^{たましひ}の^{たましひ}子) となづ^{たましひ}けたり

漢訳 拉結氣將絶時、名其子曰便阿尼而死、惟父名之便雅憫、

英訳 And it came to pass, as her soul was in departing, (for she died),

that she called his name Ben-oni: but his father called him Benjamin.

英訳の注 That is, The son of my sorrow.
That is, The son of the right hand.

〔第 38 章 29 節〕

明治元訳 手を引ひきこむるにあたりて兄弟きょうだいいでたれば爾なんぢなんぞやぶり坼やぶりいづるやそのやぶりなんぢ坼き汝きに歸せんといへり故ゆゑにその名なはペレツやぶり (坼) と稱よび

漢訳 適子手入、而其弟出。收生者曰、爾何突如其來也。此突如歸爾。故命名法勒士。

英訳 And it came to pass, as he drew back his hand, that, behold, his brother came out: and she said, How hast thou broken forth? This breach be upon thee: therefore his name was called Zarah.

英訳の注 That is, A breach.

〔第 41 章 51 節〕

明治元訳 ヨセフその家うひこ子の名なをマナセ (忘) とわすれなづけて言いふ神我かみわれをしてわがもろもろ 諸くるしみの苦難ちちとわが父いへの家すべての凡ことの事ことをわすれしめたまふと

漢訳 其初生者、約瑟名之曰馬拿西、蓋曰、神令我忘昔諸苦、及父之家。

英訳 And Joseph called the name of the firstborn Manasseh: For God, said he, hath made me forget all my toil, and all my father's house.

英訳の注 That is, Forgetting.

〔第 41 章 52 節〕

明治元訳 又次またつぎの子この名なをエフライム (多く生る) とおほなづけていかみふ神われをしてわがなやみ 艱難ちの地おほにて多こくの子こをえせしめたまふと

漢訳 又名其次子曰、以法蓮、蓋曰、神令我結實於受苦之地。

英訳 And the name of the second called he Ephraim: For God hath caused me to be fruitful in the land of my affliction.

英訳の注 That is, Fruitful.

5-4. 漢訳聖書、英訳聖書共にみられない表現

ここでは、漢訳聖書にも英訳聖書にもみられない表現を取り上げる。翻訳の段階で、訳者自身の工夫、または他の言語の聖書や注解書を参照した部分とみなされる部分である。

「第 12 章 16 節」

明治元訳 ここ おい かれ ため につく アブラムを 待 ひて アブラム つひ ひつじうし
是に於てパロ彼のために厚くアブラムを待ひてアブラム遂に羊牛

漢訳 因之厚待亞伯蘭有羊牛牡驢僕婢、牝驢以及駱駝。

英訳 And he entreated Abram well for her sake : and he had sheep, and oxen, and he asses, and menservants, and maidservants, and she asses, and camels.

※これは、漢訳聖書と英訳聖書の語順が一致。明治元訳のみ語順が異なっている。

これは、当時の日本における家畜や奴隷の価値に合わせて変更された可能性が推測できる。

「第 13 章 2 節」

明治元訳 はなはだ か ちく きんぎん とめ
アブラム 甚 家畜と金銀に富り

漢訳 亞伯蘭富有金銀牲畜。

英訳 And Abram was very rich in cattle, in silver, and in gold.

※ここでの語順はすべて異なっており、当時の日本での金銀や家畜の価値に合わせた語順に変更された可能性がある。

「第 13 章 14 節」

明治元訳 わか のち いひ なんぢ
ロトのアブラムに別れし後エホバアブラムに言たまひけるは爾の
め あげ なんぢ を ところ にしひがしきたみなみ のぞ
目を舉て爾の居る處より西東北南を瞻望め

漢訳 羅得別亞伯蘭後、那和華謂亞伯蘭曰、爾由所在之處、舉目觀東西南北。

英訳 And the LOAD said unto Abram, after that Lot was separated from him, Lift up now thine eyes, and look from the place where thou art

northward, and southward, and eastward, and westward :

※ここでの語順はすべて異なっており、当時の言語習慣に則して変更された可能性がある。

〔第 25 章 34 章〕

明治元訳 ^{ここ} ^{おい} ^{あぢまめ} ^{あつもの} ^{あた} ^{くひかつのみ}
是に於てヤコブパンと扁豆の羹とをエサウに興へたれば食且飲て
^{たち} ^{され} ^{かく} ^か ^{とく} ^{けん} ^{かろん}
起て去り斯エサウ家督の權と藐視じたり

漢訳 雅各即以餅及紅豆羹予以掃、以掃飲之、食之、則起而去是以掃於冢子之業、藐視之矣。

英訳 Then Jacob gave Esau bread and pottage of lentils ; and he did eat and drink, and rose up, and went his way. Thus Esau despised his birthright.

〔第 30 章 37 節〕

明治元訳 ^{ここ} ^{やなぎ} ^{かひで} ^{くは} ^{あほえだ} ^と ^{かは} ^{はぎ} ^{しろ} ^す ^ち ^{つく} ^{えだ}
茲にヤコブ楊柳と楓と桑の青枝を執り皮を剥て白紋理を成り枝の
^{しろ} ^{ところ}
白き所をあらはし

漢訳 雅各取青木瓜、楓、杏樹之柔條、去皮成紋理、使柔條之白現。

英訳 And Jacob took him rods of green poplar, and of the hazel and chesnut tree ; and pilled white streaks in them, and made the white appear which was in the rods.

〔第 37 章 12 節〕

明治元訳 ^{ここ} ^{きょうだい} ^ら ^{ちち} ^{ひつじ} ^{かひ}
茲にその兄弟等シケムにゆきて父の羊を牧いたりしかば

漢訳 後、兄往示劍牧父之群。

英訳 And his brethren went to feed their father's flock in Shechem.

※「第 37 章 13 節」「第 37 章 16 節」も同様の表現あり。

〔第 40 章 16 節〕

明治元訳 ^{ここ} ^{かしはで} ^{かしら} ^{ときあかし} ^{よか} ^み ^{われ} ^{ゆめ} ^え
茲に膳夫の長その解明の善りしを見てヨセフにいふ我も夢を得て
^み ^{しろ} ^み ^{かこ} ^{かしら}
見たるに白きパン三筐とが首にありて

明治元訳旧約聖書『創世記』の成立に関しての一考察

漢訳 膳長見其解善、則謂約瑟曰、我亦得夢、見有三白筐、在我首上。
英訳 When the chief baker saw that the interpretation was good, he said unto Joseph, I also was in my dream, and, behold, I had three white baskets on my head :

〔第 41 章 42 節〕

明治元訳 パロすなわち指環^{ゆびわ}をその手^てより脱^{はづ}して之^{これ}をヨセフの手^てにはめ^{これ}之^{しろ}に白
布^{ぬの}を衣^きせ金^{きん}の索^{くさり}をその項^{くび}にかけ
漢訳 法老脱己手之環、施於約瑟手、衣之以綺、復以金索垂其項。
英訳 And Pharaoh took of his ring from his hand, and put it upon Joseph's hand, and arrayed him in vestures of fine linen, and put a gold chain about his neck ;

〔第 42 章 25 節〕

明治元訳 而^{しか}してヨセフ命^{めい}じてその器^{うつは}に穀物^{こくもつ}をみたしめ其人^{そのひと}々の金^{かね}を囊^{ふくろ}に返^{かへ}
さしめ又^{また}途^{みち}の食^{しょく}を之^{これ}にあたへしむヨセフ^{かく}斯^かかれらになせり
漢訳 約瑟命人以穀充其囊、返其金於囊内、又給以征途之餼糧。遂行之若此。
英訳 Then Joseph commanded to fill their sacks with corn, and to restore every man's money into his sack, and to give them provision for the way : and thus did he unto them.

※漢訳聖書と英訳聖書では書き分けがされていないのに対し、明治元訳は書き分けがされている。

〔第 43 章 11 節〕

明治元訳 父^{ちち}イスラエル^{かれら}彼等^{かれら}にいひけるは然^{しか}ば斯^{かく}なせ汝^{なんぢ}等^ら國^{くに}の名^{めい}物^{ぶつ}を器^{うつは}
にいれ携^{たづ}へくだりて彼人^{かのひと}に禮物^{れいもつ}とせよ乳香^{にうかう}少許^{すこし}、蜜^{みつ}少許^{すこし}、香物^{かうもつ}、
没^{もつ}薬^{やく}、胡^{くる}桃^みおよび巴^は旦^{だん}杏^{きやう}
漢訳 父以色列謂之曰、今若此、則行是、取此地佳物、戴之於器、乳香及蜜少許、香料、没薬、榲子、杏仁、携之下、興其人爲禮物。

英訳 And their father Israel said unto them, If it must be so now, do this ;
take of the best fruits in the land in your vessels, and carry down the
man a present, a little balm, and a little honey, spices and myrrh,
nuts and almonds :

「第 49 章 11 節」

明治元訳 ^{かれ} ^ろ ^ば ^ぶ ^{だう} ^き ^{つな} ^め ^ろ ^ば ^こ ^ぶ ^{だう} ^{つる} ^{つな} ^{また}
彼その驢馬を葡萄の樹に繋ぎその牝驢馬の子を葡萄の蔓に繋がん又
その衣を酒にあらひ其服を葡萄の汁にあらふべし

漢訳 繫其駒於葡萄樹、亦維其小驢於葡萄樹之佳者。以酒滌其衣、以葡萄
汁滌其服。

英訳 Binding his foal unto the vine, and his ass's colt unto the choice vine ;
he washed his garments in wine, and his clothes in the blood of
grapes :

6. 考察

今回の調査から、明治元訳の『創世記』が英訳聖書の何を具体的に利用したかが明らかとなった。特に、漢訳聖書になく英訳聖書にしかない表現が多数存在したことは、英訳聖書が参照されていた証拠と成り得るであろう。さらに、漢訳聖書、英訳聖書共に類似の表現はあるが、英訳聖書の表現を使用している部分が非常に多く存在したことから、漢訳聖書と英訳聖書を見比べて良いと思われるものを使用していたことが分かる。しかし、漢訳聖書で使用されている漢字をそのまま使用している部分が多く存在したことや、おおまかな表現は漢訳聖書に沿っていることを考えると、漢訳聖書が基盤となっていたのも間違いのないようである。漢訳聖書と英訳聖書の見事な融合が現れている部分としては、漢字は漢訳聖書のものを使用し、振り仮名を英訳聖書のものにしている部分である。特に、「子」の意味の捉え方に関して、漢字が持つ意味が広く意味の選択が困難である点においては英訳聖書が大いに役立っていたことが分かる。

また、英訳聖書の注も翻訳の資料として活用されていたことも明らかである。特に人名の由来や意味の補足として英訳聖書の注が使用されている例が多く、補足部分を括弧書きで本文に入れ込む作業が行われていたようである。さらに、当

時の経済状況や所有物の価値の重さによって語順を入れ替えていると思われる部分があったことから、翻訳者独自の工夫も多数含まれていると考えられる。

7. まとめ

今回の調査では、漢訳聖書、英訳聖書共に翻訳作業の際に大いに活用されていたことが分かった。調査結果から当時の翻訳作業の工程が垣間見えたのは大きな収穫である。また、ヘボンらが直訳を避け、読者が読みやすい翻訳を目指していたことが感じられ、「明治元訳」が名文と呼ばれているのは彼らの努力のたまものであったことが改めて示された。

しかし、今回の作業は旧約聖書さらには『創世記』に留まる調査である。今後は、より広い範囲の調査を行なうことで聖書翻訳という全体を明らかにしていくべきである。さらには、今回の調査内容からは外れるため除外したが、当時の経済状況や文化に則した表現が多数存在し、それらについても今後調査を進めることで当時の聖書文化がより鮮明に浮き出てくると思われる。

注

- 1) 土岐 川島 1988 pp.53-62
- 2) 鈴木 2006 pp.101-106
- 3) 高谷 1959 pp.336-337 (1887年12月14日 横浜 インブリー宛)
- 4) 海老沢有道文庫デジタルライブラリより引用
- 5) 高谷 1959 pp.323-324 (1884年12月26日 横浜 ラウリー博士宛)
- 6) 高谷 1959 pp.323-324 (1884年12月26日 横浜 ラウリー博士宛)
- 7) 鈴木 2006 p.110
- 8) 高橋 1984 p.198
- 9) 長澤 2014 p.7
- 10) 鈴木 2006 p.110
- 11) 高谷 1959 pp.323-324 (1884年12月26日 横浜 ラウリー博士宛)
- 12) 沼野 2014 p.5
- 13) 高谷 1945 p.323
- 14) 高谷 1959 pp.311-312 (1882年2月13日 横浜 ラウリー博士宛)

参考文献

- 相浦忠雄 小川治郎 左近義慈 滝沢陽一 竹森満佐一 宮内彰 山崎亭 1961 『聖書辞典』日本基督教団出版局
- 牛丸康夫 1965 「日本正教会における聖書和訳と聖典翻訳の歴史」聖公会神学院 神学の聲 第十二巻 第一号
- 海老沢有道 1964 『日本の聖書 聖書と訳の歴史』日本基督教団出版部
- 金成恩 2013 『宣教と翻訳』 東京大学出版会
- 佐波巨 1976 『植村正久と其の時代 第四巻』教文館
- 鈴木範久 2006 『聖書の日本語 翻訳の歴史』岩波書店
- 高橋虔 1984 「日本における聖書の翻訳」日本の神学 (23), 195-204, 1984
- 高谷道男 1954 『ドクトル・ヘボン』牧野書店
1959 『ヘボン書簡集』岩波書店
- 土岐建治 川島第次郎 1988 「聖書翻訳史における元約・口語訳・新共同訳：旧約聖書特に創世記を中心として」一橋大学研究年報, 人文科学研究, 27: 53-149
- 長澤志穂 2014 「明治期聖書和訳にみられる漢学の影響 日本正教会訳を中心として」南山宗教文化研究所報 第24号
- 沼野治郎 2014 『現代中国語訳の聖書 モリソン訳から改訂合本聖書に至る翻訳史』せせらぎ出版
- 御法川恵子 1965 「聖書と訳とその訳語についての国語学研究」東京女子大学日本文学研究会 日本文学 第二十五号
- 村岡典嗣 1940 『漢譯聖書源流考』岩波書店